

ボランティア
募集

牛田ウルトラマンキッズ 「一緒にダンスストレッチしませんか！」

日時：6月11日（土）
10:00～12:00 ダンスストレッチ
12:00～15:00 昼食、情報交換会
内容：「ダンス ストレッチ♪」
場所：牛田公民館 研修室2
参加費：無 料
備考：動きやすい服装、飲物をご準備ください。
昼食は会で準備いたします。

牛田ウルトラマンキッズとは、
障がいのある方々とその家族、ボランティア
さんが一緒に休日などを楽しむことを目的に
活動している障がい児者自主サークルです。

活動日時：第2土曜日 10～15時
活動内容：クッキング、工作、バスレク、
季節行事など
活動場所：主に牛田公民館

ボランティア
募集

広島市こども療育センター **二葉園** ボランティア セミナー受講者募集中！

“障がい”ってなんだか難しそう…って思っていないですか？そんな不安は、子どもたちの笑顔が吹き飛ばしてくれます。障がいの基礎知識から個別の関わり方まで少人数で学べます。楽しく、深～く学べる講座を受講してみませんか？参加費は無料です。

日時：6/14（火）・11/29（火）
9:30～12:00
※1回だけの参加でも可能です
会場：東区総合福祉センター 3階 大会議室3
内容：「二葉園」の地域療育への参加・学習会
申込締切：開催日の前日午前中まで

二葉園とは、広島市こども療育センター内（東区光町）にある就学前の肢体不自由の子どもが親子通園をしている施設です。専門的な支援を基本に、子どもたちの成長を促すあそびや生活づくりを日々行っています。そんな子どもたちを理解し、成長を見守ってくださるボランティアさんを募集しています。

ボランティア
募集

社会福祉法人 交響(きつつき共同作業所) 「一緒に夏休みを過ごしませんか！」

交響では、下記の日程で東区内の障がいのある方々を対象に、日中一時支援事業を行います。障がいのある方々が夏休みを楽しく過ごせるように、一緒に遊んだり、スタッフのサポートをしてくださるボランティアさんを募集しています。1日のみの参加も大歓迎です！

月 日：7/27（水）、8/3（水）、5（金）、10（水）、11（木）
8/18（木）、23（火）、24（水）、30（火）、31（水）
時 間：9：00～16：00
場 所：交響ホーム 生活支援ホーム「i（アイ）」（東区戸坂新町2-3-4）
内 容：障がいのある方の活動支援
（屋内）TVゲーム、お絵かき、パズル、DVD、CD鑑賞（屋外）ビニールプールで水遊びなど
対 象：東区在住の知的障がい者、障がい児 1日につき6名程度
募集人数：1日に2～3名
備 考：昼食あり、交通費なし。ボランティア活動証明の発行可。
問い合わせ：社会福祉法人 交響 TEL:(082)229-7005 / FAX:(082)229-7008
（担当：藤谷・天崎）

東日本大震災被災地支援レポート 「岩沼市災害ボランティアセンターでの活動を終えて」



震災発生から2ヶ月近く経過したゴールデンウィーク最終日の5月5日から12日まで、近畿・中国・四国ブロック社会福祉協議会の災害派遣職員として宮城県岩沼市災害ボランティアセンターで活動してきました。1週間の派遣とはいえ、長距離移動のため岩沼市での活動は正味5日間でしたが、その時の現地と活動の様子を報告させていただきます。

報道では宮城県北部がよく取り上げられますが、県南部の沿岸部も津波により甚大な被害を受けていました。岩沼市も沿岸部は街の形跡も無くなり、かろうじて残っている家も1階部分がごっそり流されていたり、家の向きが逆さになり見えないはずの床裏が見えていたり…、そんな信じがたい光景を目の当たりにし、自然の驚異を感じると共に、現地の皆さまがどれほど恐ろしく悲しい思いをされたか、胸がしめつけられる思いでした。

岩沼市災害ボランティアセンターの周辺は、沿岸部に比べ少し高い場所にあったため津波被害から免れ、震災の翌日には災害ボランティアセンターが立ち上り、現在までに13,500人以上のボランティアさんが活動をされています。主な活動は家の泥出しで、その他に事務局ボランティア、送迎ボランティア、資材洗いボランティアなどがあります。

その中で、私は被災地に向かうボランティアさんの活動前のオリエンテーションを担当させていただきました。活動先での作業内容、注意事項などを説明し、送迎の配車状況を見ながらボランティアさんの送り出しをしました。



家が無残にもひっくり返っています。

活動報告を受ける際に少し脱線して、どちらから来られたのか、またどのような経緯でボランティア活動に参加されたのかなどを聞くことができました。

テント泊や車中泊をしながら長期滞在される遠方の方、毎週末継続して参加される地元の方、社協職員やボランティアさんと一緒にいるのが楽しくて、学校の休みの日や授業の合間に活動をする地元の学生などなど、それぞれができる範囲で予定を調整し、いきいきと活動をされているのが印象的でした。

この震災が無ければ一生関わることもない、見ず知らずの人たちが集まり、「被災地のため、被災者のために何か自分ができることはないか」という同じ思いを持っていることで、ボランティアが一つの街の復興に大きな役割を果たすことができるということに感動を覚えたと共に、ボランティアさんや地元の社協スタッフの明るい笑顔や、他愛のないおしゃべりなどに、援助に行ったはずの私が逆に元気や爽やかさをもらったような気がしました。

震災の被害を思うと非常に心が痛みますが、この派遣を通してたくさんの素敵な出会いができたことに感謝の思いでいっぱいです。改めてボランティアの底力のようなものを感じることもできました。

復興に向けて今後も長期的な支援が求められています。また機会があれば岩沼市のみならず被災地に向いて行きたいと思えます。

被災地の各災害ボランティアセンターの様子は宮城県災害ボランティアセンターのホームページからご覧になれます。被災地の様子や求められているボランティア活動は刻々と変わってきます。今後被災地でのボランティア活動をお考えの方は、是非災害ボランティアセンターのブログを参考にされてみてはいかがでしょうか。また、募金への協力も支援の一つです。みなさまの息の長いご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

レポーター：東区社会福祉協議会 田村恵音

宮城県災害ボランティアセンターホームページ

<http://msv3151.c-bosai.jp>